

## 記者会見の概要

1. 日 時 2025年10月24日（金）14時00分～14時30分
2. 出席者 北海道建設記者会（4社）  
北海道建設新聞社、北海道通信社、日刊建設通信新聞社、日刊建設工業新聞社
3. 概 要 和泉社長が資料「保証事業から見た2025年度公共事業と保証事業重点推進方針の進捗状況」に基づき説明。

### （1）保証事業から見た2025年度上半期の公共事業

#### ①前払金保証実績の推移

- ・当社の道内外を合わせた前払金保証対象請負金額は、前年同期比3.5%増の9,407億円で2003年度以降の23年間で最も高い実績となった。
- ・発注者別では独立行政法人等が前年同期比14%増、道は6%増、市町村は6%増、国は3%増となった。

#### ②保証事故の状況

- ・保証事故は、前払金保証2,684千円、契約保証4,890千円を弁済した。

### （2）2025年度第2回建設業景況調査結果

#### ①前期（第1回）と同様、多くの項目で「悪化」傾向が続いている。

#### ②「地元建設業界の景気」「資材の調達」「資材価格」「建設労働者の確保」などは、悪化傾向が続いている。

#### ③「経営上の問題点」では、「人手不足」を挙げた企業が80.0%を占めており、2016年9月期から第1位となっている。

### （3）2025年度保証事業重点推進方針の上半期進捗状況

#### ①前払金制度の改善・利用促進

- ・支払限度額撤廃市町村は、2町増加し174市町村（97%）となった。
- ・中間前払金制度導入市町村は、14市町村増加し144市町村（80%）となった。
- ・地域建設業経営強化融資制度は、38市町が導入済みである。

#### ②業務DXの推進

- ・国土交通省発注分の上半期実績は、前払金保証1,443件（全1,676件、利用率86.1%）、契約保証178件（全224件、利用率79.5%）となった。
- ・北海道発注分の上半期実績は、前払金保証2,065件（全2,900件、利用率71.2%）、契約保証250件（全456件、利用率54.8%）となった。
- ・道内市町村の電子保証導入は合計で10市町となった。

### ③北海道の建設業の働き・魅力を発信

- ・北海道建青会によるコンストラクション甲子園について、支援及び協力を行う。今年は地区予選が11月29日に全道一円を対象とした9会場で開催され、決勝大会が1月24日にサッポロファクトリーのアトリウムで開催される。
- ・Instagramにて、現場見学会やコンストラクション甲子園等の助成事業や建設業の魅力を市民に理解してもらえるイベントについて幅広く情報を発信中である。
- ・建設イノベーション・コンソーシアムを設立して、北海道の建設業界全体を応援・PRする目的で、業界横断の広報やWeb活動等を行う。第1弾の事業として、縦型ショートドラマを地元テレビ局とタイアップして制作し、放送後にはSNS等で視聴できるようにする。

### ④道内建設業担い手確保助成事業による支援

- ・「道内建設業担い手確保助成事業」(2024~2028年度までの5年間で1億円規模)の2年目として、現時点で41事業、2,434万円の助成を内定している。

## 4. 質疑等

(問) 支援に力を入れているコンストラクション甲子園に対する期待感は。

(答) 参加チーム数が、昨年93チームだったところ、今年は締め切り1週間前の昨日時点で105チームと増えているが、これはやはり「継続は力なり」であると感じている。毎年開催していることで、今年もあるぞということが段々と認識されてきており、そこに建青会さんが各学校回りをすることで先生方とのコネクションができる等の関係もあって浸透してきているのではないかと実感している。

(問) 建設業界の現場を舞台にした縦型ショートドラマについて、どのようなものをイメージし、期待しているか。

(答) ターゲットとなる中学生から上ぐらいの年齢のみなさんが見て「建設業っていいな」と思ってくれるかどうかの仕立てができるかどうかにかかっている。我々の感覚でいいなと思うものと、彼らがいいなと思うものが少し違うと思うので、テレビ局やメディアの方々から見て我々がどう見られているのかも含めて、コミュニケーションを取りながらテレビ局サイドにも建設業のことを勉強してもらって、子供たちにうまく情報が行き渡って反応してもらえるようなものを作ってもらえればいいと思っている。メディアに建設業の実態をちゃんと理解してもらって、ドラマを仕立ててもらおうということも一つのプロセスとして重要であり、コンストラクション甲子園と同様に先生方をお願いをして回るようなプロセスを大事にして浸透させるということが重要だと考えている。

(問) 中間前払金の制度導入について、市町村の導入数が8割になったということで、ここからの2割の導入は、何が鍵になってくるか。

(答) 市町村のみなさんは、やはり近隣の市町村を意識されているので、そういった近隣が制度を導入してきていることがわかる資料を見せながら営業していかなければいけないと考えている。

(問) 北海道新幹線に係る落札状況を見ると軌道工事が増えており、道内にはない専門工事業者が受注することが多いが、その専門工事業者の貴社での登録は進んでいるのか。

(答) 登録は進んでいない。引き続き努力し、少なくとも新幹線工事の地方負担分である3割程度は保証していきたいと思っている。

以 上

保証事業からみた2025年度公共事業と  
保証事業重点推進方針の進捗状況

(本文)

2025年10月

北海道建設業信用保証株式会社

# 目 次

I	保証事業から見た 2025 年度上半期の公共事業	1 頁
II	2025 年度第 2 回（2025 年 7 月～9 月）景況調査結果	2 頁
III	2025 年度保証事業重点推進方針の上半期進捗状況	3～5 頁
	1. 発注者との連携の強化	
	2. 前払金制度の改善・利用促進	
	3. 業務の D X の推進	
	4. 保証契約者との連携の強化・情報提供	
	5. 北海道の建設業の働き・魅力を発信	
	6. 道内建設業担い手確保助成事業による支援	

## I 保証事業から見た 2025 年度上半期の公共事業

1. 当社の道内外を合わせた前払金保証対象請負金額は、前年同期比3.5%増の9,407億円(2003年度以降の23年間で最も高い実績)で推移した。道内の前払金保証対象請負金額は、前年同期比5.4%増の9,109億円、中間前払金保証対象請負金額は、前年同期比9.7%減の289億円となった。(資料:1頁)
2. 工事目的別では、港湾空港鉄道が前年同期比16%増、住宅都市5%増、治山治水4%増、農林水産4%増、道路5%減となった。(資料:3頁左)
3. 地域別では、日高等9地域が増加し、釧路等5地域が減少した。(資料:3頁右)
4. 2025年度上半期の道内前払金保証対象請負金額は、前年同期比7%増の9,362億円で推移した。(資料:4頁左)
5. 発注者別では、独立行政法人等が前年同期比14%増(うちJRTT17%増)、北海道6%増、市町村6%増、国3%増となった。(資料:4頁右)
6. 保証事故は、前払金保証2,684千円、契約保証4,890千円を弁済した。(資料:1頁)

## II 2025年度第2回(2025年7月～9月)景況調査結果

1. 調査対象企業247社のうち有効回答企業数は235社(有効回答率95.1%)。  
調査対象期間は、実績が7月～9月、見通しが10月～12月。
2. 前期(2025年4月～6月)と同様、多くの項目で悪化傾向が続いている。(資料:5頁)
3. 「地元建設業界の景気」は、2019年12月期から「悪い」傾向が続いている。(資料:6頁)
4. 「資材の調達」は、底を打った2022年6月期から「困難」傾向が弱まってきている。(資料:7頁)
5. 「資材価格」は、2022年6月期を境に「上昇」傾向がやや弱まってきている。(資料:8頁)
6. 「建設労働者の確保」は、長期的な「困難」傾向が続いている。(資料:9頁)
7. 来期(10月～12月)見通しでは、「地元建設業界の景気」、「資材の調達」、「資材価格」、「建設労働者の確保」等多くの項目で、悪化傾向が続く又は強まる見通しとなっている。(資料:5頁)
8. 「経営上の問題点(複数回答可)」では、「人手不足」と回答した企業が80.0%を占め、2016年9月期から第1位となっている。第2位は、2017年3月期から「従業員の高齢化」で62.1%。第3位は「受注の減少」で34.5%。以下、「人件費の上昇」が23.8%、「下請の確保難」が20.9%。(資料:10頁)

### Ⅲ 2025年度保証事業重点推進方針の上半期進捗状況

#### 1. 発注者との連携の強化

- (1) 前払金制度改善等について発注者と意見交換
- (2) 新担い手3法関連施策への協力

#### 2. 前払金制度の改善・利用促進(資料:11~12頁)

##### (1) 道内市町村の前払金支払限度額の撤廃

- ① 支払限度額を設定している7町村に働きかけた結果、上砂川町と沼田町が撤廃した。
- ② 前払金支払限度額を撤廃した市町村数は174(97%)となった。

##### (2) 中間前払金を利用しやすくするための環境整備

- ① 中間前払金制度は、上半期に14市町村が導入し、導入数は144市町村(80%)となった。未導入の町村に対する働きかけを継続する。
- ② 制度を導入した発注者には、手順が簡単であることを受注者に周知することを要請している。未だ利用していない受注者には既利用者の満足度を伝え、制度の利用を勧めている。

##### (3) 出来高融資制度導入の働きかけ

- ① 品確法運用指針で中間前払金とともに活用を促している地域建設業経営強化融資制度(出来高融資)は、制度が2025年度末まで延長されたことから、北保証サービスと連携して、保証契約者に制度の活用を提案している。
- ② 制度の導入数は38市町(21%)。未導入の市町村に対する働きかけを継続する。

### 3. 業務DXの推進

#### (1) 電子保証の推進(資料:13頁)

- ①国土交通省の電子保証実績は、前払金保証1,443件(全1,676件、利用率86.1%)、契約保証178件(全224件、利用率79.5%)。導入時期は2022年5月9日。
- ②北海道の電子保証実績は、前払金保証2,065件(全2,900件、71.2%)、契約保証250件(全456件、利用率54.8%)。導入時期は前払金保証が2022年10月1日、契約保証が2024年2月1日。
- ③上半期に岩見沢市、旭川市、浜中町、中標津町が電子保証を導入し、導入数は10市町となった。

#### (2) Web保証申込の促進

- ①電子保証を利用するためにはWeb保証で申込をする必要があるため、建設企業等にWeb保証申込の利用を促進している。
- ②9月末現在の前払金保証のWeb保証申込の件数割合は81%に達した。

#### (3) 保証契約者の利便性に資する社内業務のDX化を検討している。

### 4. 保証契約者との連携の強化・情報提供

#### (1) 経営改善のための情報提供

- 11月に『道内建設業(保証契約者)の財務比率』をホームページに掲載する。

### 5. 北海道の建設業の働き・魅力を発信

#### (1) コンストラクション甲子園の支援・協力

- ①地区予選 (2025年11月29日(土)開催)  
会場 全道一円を対象とした9会場(札幌／函館／北見／旭川／釧路／岩見沢／帯広／留萌／稚内)
- ②決勝大会 (2026年1月24日(土)開催)  
会場 サッポロファクトリーアトリウム(札幌)

(2) 北海道建設業協会と連携して、コンテンツの収集を協働で行い、現場見学会やコンストラクション甲子園等の助成事業や建設業の魅力を市民に理解してもらえるイベントについて、Instagramを活用し、幅広く情報を発信している。

(3) 建設業の魅力発信を専門に行う「建設イノベーション・コンソーシアム」を設立し、北海道の建設業界全体を応援・PRする目的で、業界横断の広報やWeb活動等を行う。第1弾事業として、建設業界の現場を舞台にした「縦型ショートドラマ」を地元テレビ局とタイアップして制作し、放送後にはSNS等で視聴できるようにする。

#### 6. 道内建設業担い手確保助成事業による支援

(1) 「道内建設業担い手確保助成事業」(2024～2028年度までの5年間で1億円規模)の2年目として、現時点で41事業 2,434万円の助成を内定している。

(資料)

## 2025年度上半期 保証取扱状況

### 1. 前払金保証取扱状況

(金額単位：百万円)

発注者	前払金保証						中間前払金保証					
	件数	請負金額	保証金額	対前年度比(%)			件数	請負金額	保証金額	対前年度比(%)		
				件数	請負金額	保証金額				件数	請負金額	保証金額
国	1,790	181,918	71,046	93.8	101.2	100.9	24	7,118	1,422	120.0	128.2	128.2
独立行政法人等	124	231,678	87,792	87.9	114.3	122.7	2	702	123	100.0	148.1	131.4
北海道	2,900	165,939	64,685	98.2	106.0	105.3	47	9,001	1,794	120.5	127.3	130.5
道内市町村	3,682	303,563	119,142	96.9	105.1	105.3	74	10,383	2,047	102.8	85.7	86.2
地方公社	16	8,340	3,279	123.1	232.1	249.6	0	0	0	—	—	—
その他	155	19,506	7,875	82.0	60.1	71.2	1	1,723	344	16.7	25.3	26.9
道内計	8,667	910,947	353,821	96.3	105.4	107.6	148	28,930	5,732	106.5	90.3	91.9
道外	277	29,761	11,609	87.9	65.5	67.3	1	1,650	100	—	—	—
合計	8,944	940,709	365,431	96.0	103.5	105.6	149	30,580	5,832	107.2	95.5	93.5

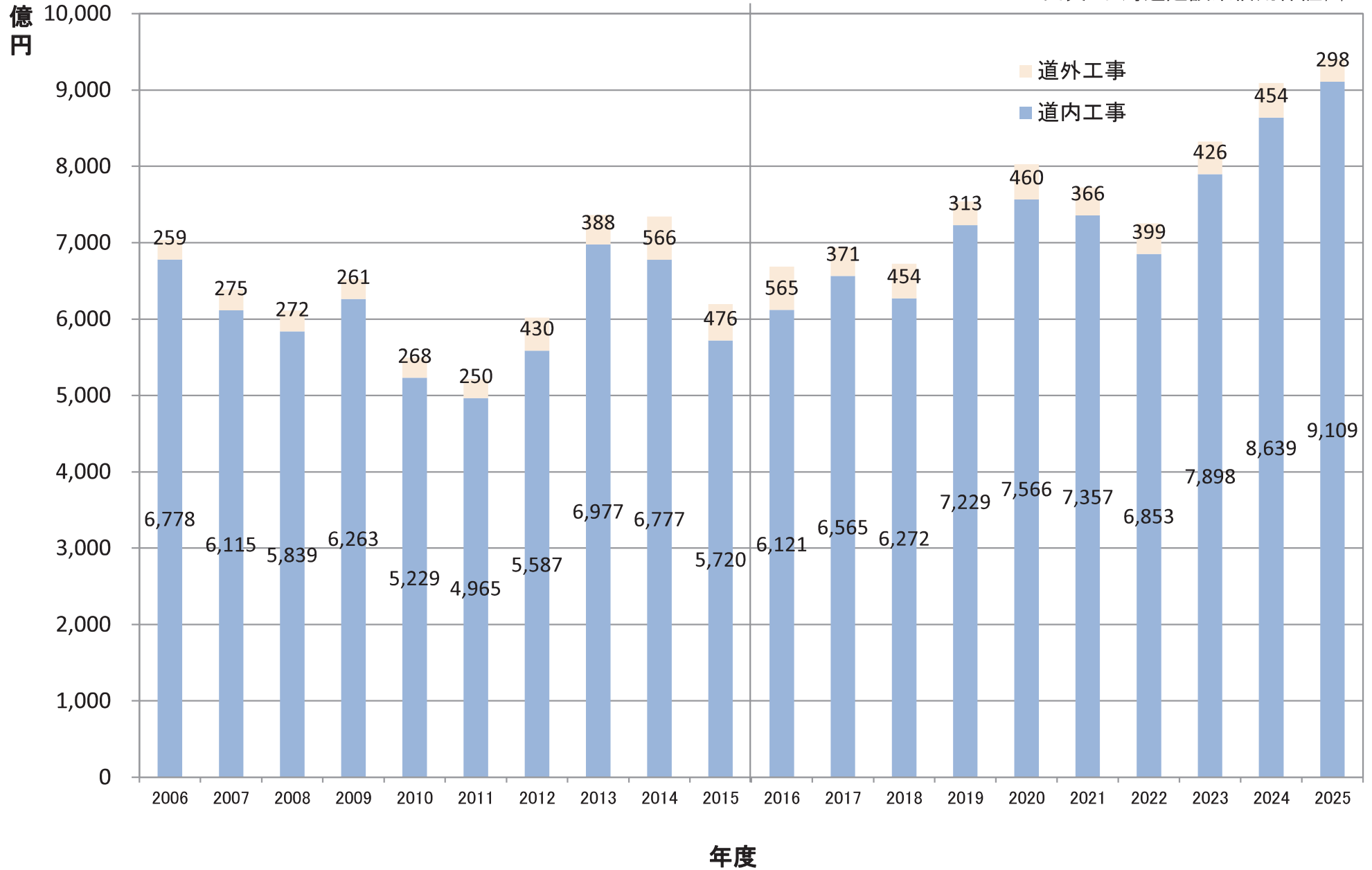
### 2. 保証事故状況

(金額単位：千円)

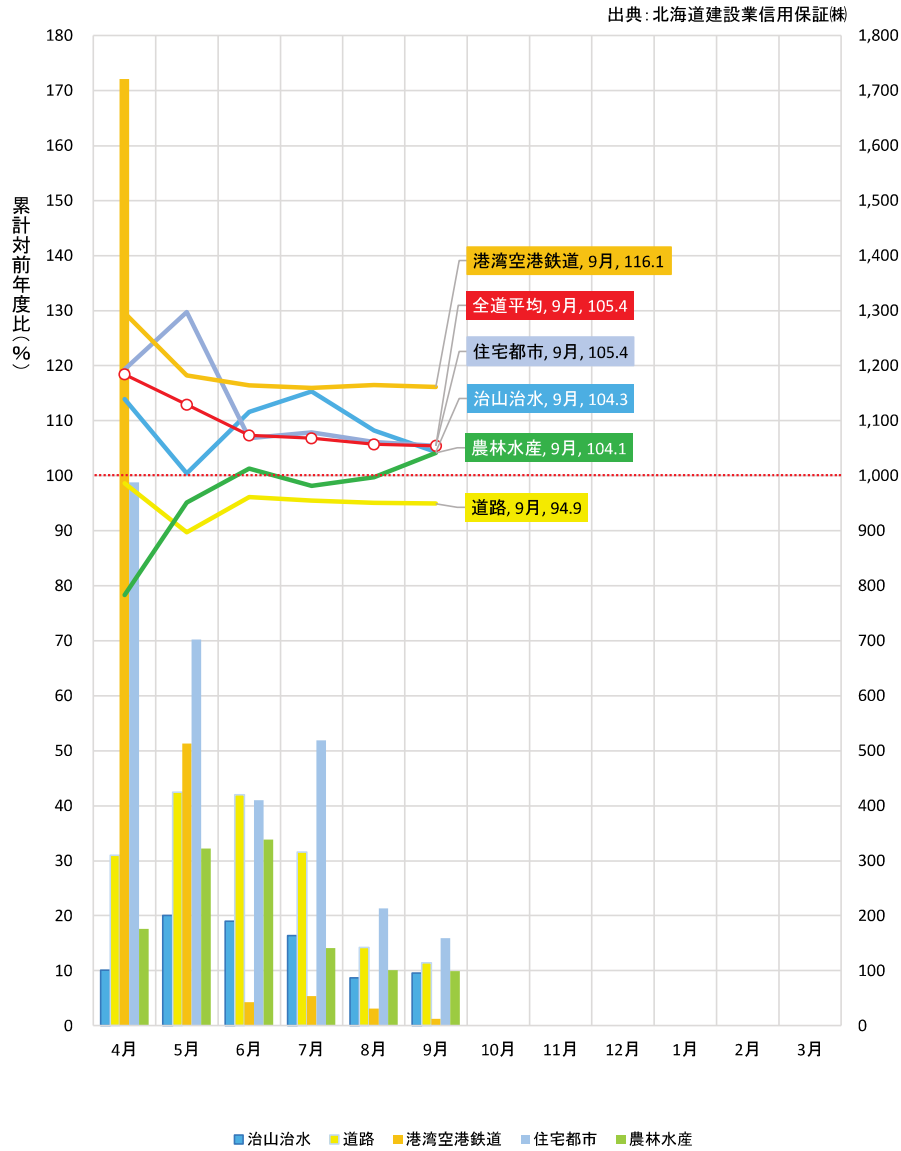
年度	前払金保証		契約保証	
	件数	金額	件数	金額
2020	0	0	0	0
2021	1	73	0	0
2022	0	0	1	32,142
2023	0	0	0	0
2024	0	0	0	0
2025(9月累計)	1	2,684	1	4,890

# 上半期前払金保証(請負金額)推移

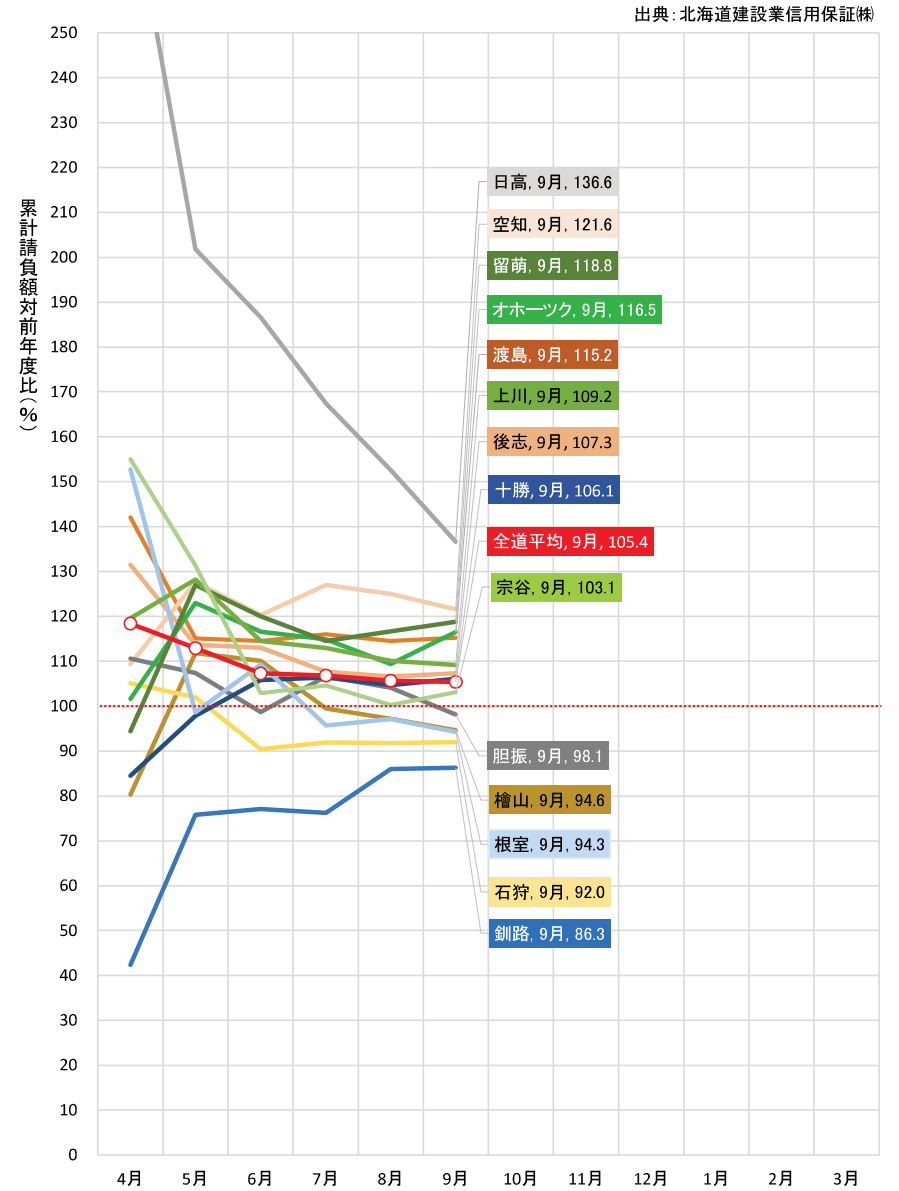
出典: 北海道建設業信用保証(株)



2025年度北海道工事目的別 月末累計請負額対前年度比(%)

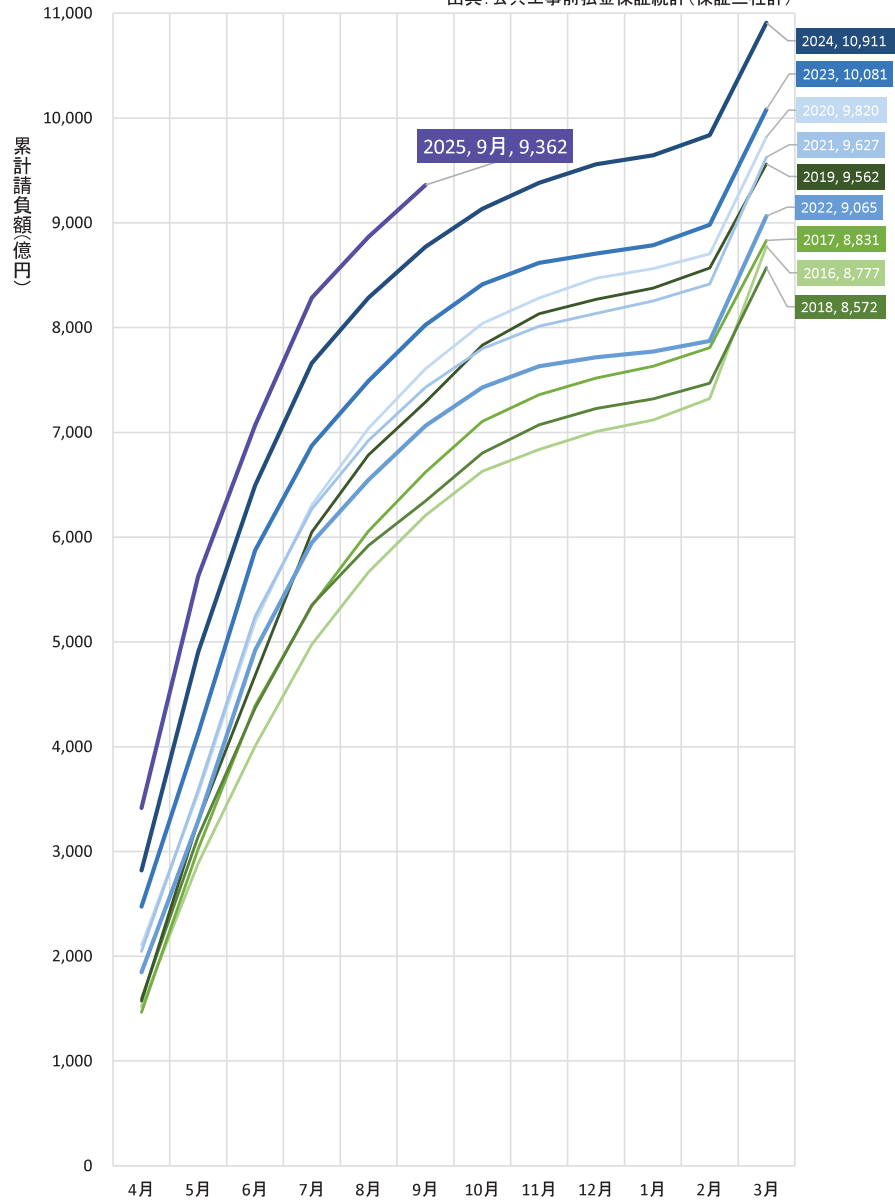


2025年度北海道地域別 月末累計請負額対前年度比(%)



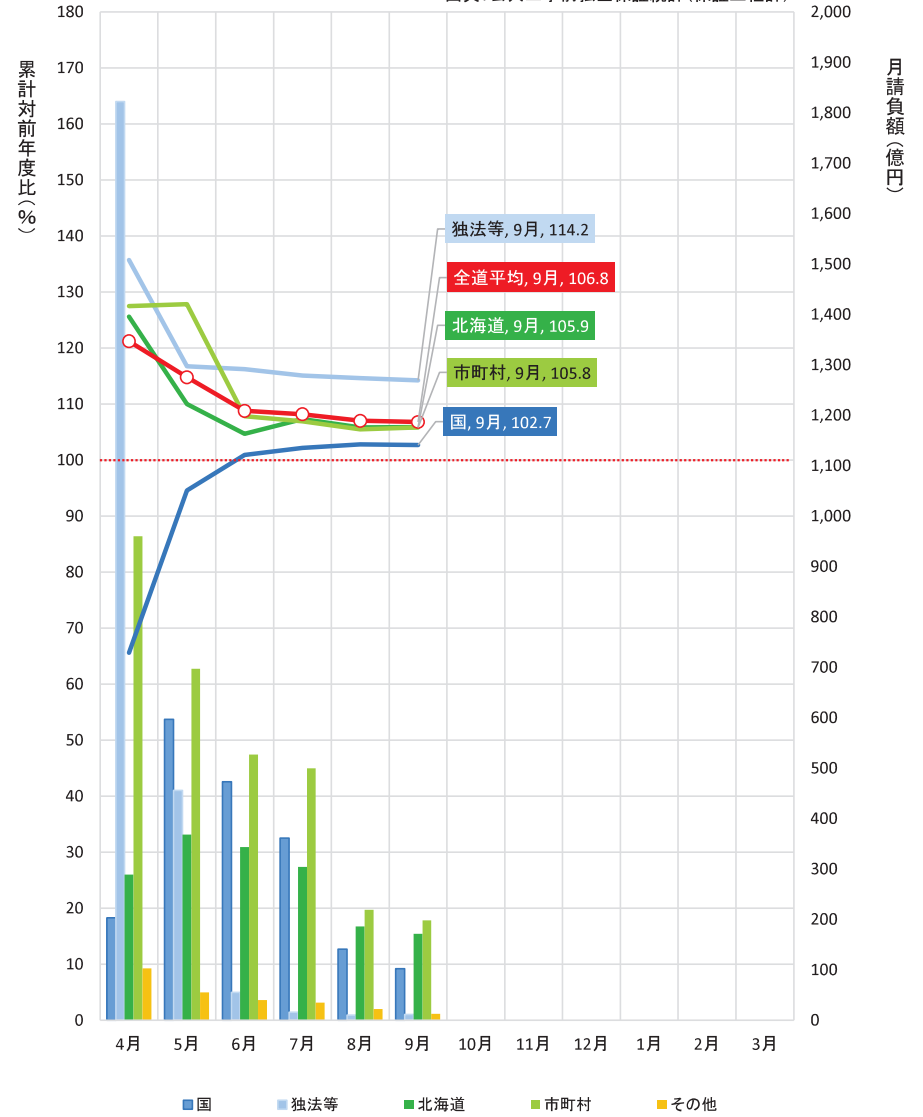
2025年度北海道年度別 月末累計請負額(億円)

出典: 公共工事前払金保証統計(保証三社計)



2025年度北海道発注者別 月末累計請負額対前年度比(%)

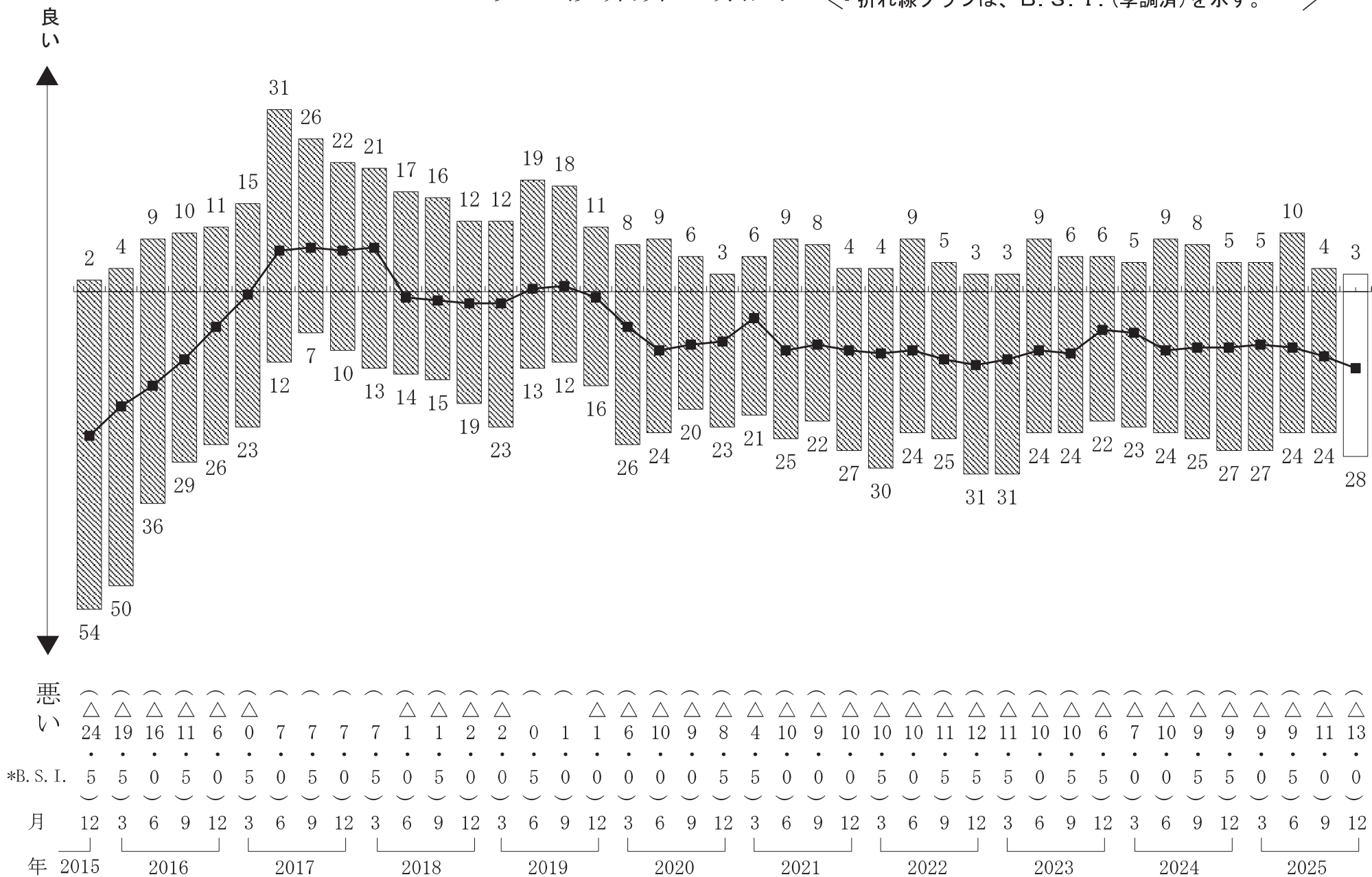
出典: 公共工事前払金保証統計(保証三社計)



項目 (※印は季節調整項目を示す。)		B. S. I. 値の傾向		前期	今期		来期		
		プラスの傾向		B. S. I. 値	傾向と推移 (前期に比べて今期の状況)	B. S. I. 値	傾向と推移 (今期に比べて来期の状況)		
		マイナスの傾向					B. S. I. 値		
(1) 業況等	地元建設業界の景気 ※	良い	悪い	△ 9.5	悪い傾向が続いている	△ 11.0	悪い傾向が続く見通し		
		悪い							
(2) 受注	受注総額 ※	増加	減少	△ 8.5	減少傾向が続いている	△ 8.5	減少傾向がやや強まる見通し		
		減少							
	官公庁工事 ※	増加	減少	△ 10.0	減少傾向が続いている	△ 9.0	減少傾向が強まる見通し		
		減少							
	民間工事 ※	増加	減少	△ 7.5	減少傾向が続いている	△ 9.0	減少傾向が続く見通し		
		減少							
(3) 資金繰り	資金繰り ※	容易	厳しい	3.5	容易傾向が続いている	3.5	容易傾向がやや弱まる見通し		
		厳しい							
(4) 金融	銀行等貸出傾向	容易	厳しい	8.0	容易傾向が続いている	7.5	容易傾向が続く見通し		
		厳しい							
	短期借入金 ※	増加	減少	0.0	増加傾向になる	2.5	増加傾向が続く見通し		
		減少							
	短期借入金金利	上昇	下降	20.5	上昇傾向がやや弱まっている	16.0	上昇傾向が続く見通し		
		下降							
(5) 資材	資材の調達 ※	容易	困難	△ 5.5	困難傾向が続いている	△ 5.0	困難傾向が続く見通し		
		困難							
	資材価格	上昇	下降	31.5	上昇傾向がやや弱まっている	27.5	上昇傾向が続く見通し		
		下降							
(6) 労務	建設労働者の確保 ※	容易	困難	△ 25.0	困難傾向が続いている	△ 24.5	困難傾向が続く見通し		
		困難							
	建設労働者の賃金	上昇	下降	34.0	上昇傾向が弱まっている	28.5	上昇傾向がやや弱まる見通し		
		下降							
(7) 収益 ※		増加	減少	△ 10.5	減少傾向が続いている	△ 9.5	減少傾向が強まる見通し		
		減少							
収益が今期減少傾向となった理由 (上位3項目)		1位	完成工事高の減少			2位	人件費の上昇		
経営上の問題点 (上位3項目)		1位	人手不足			2位	従業員の高齢化		
						2位	資材価格の上昇		
						3位	受注の減少		

# 地元建設業界の景気

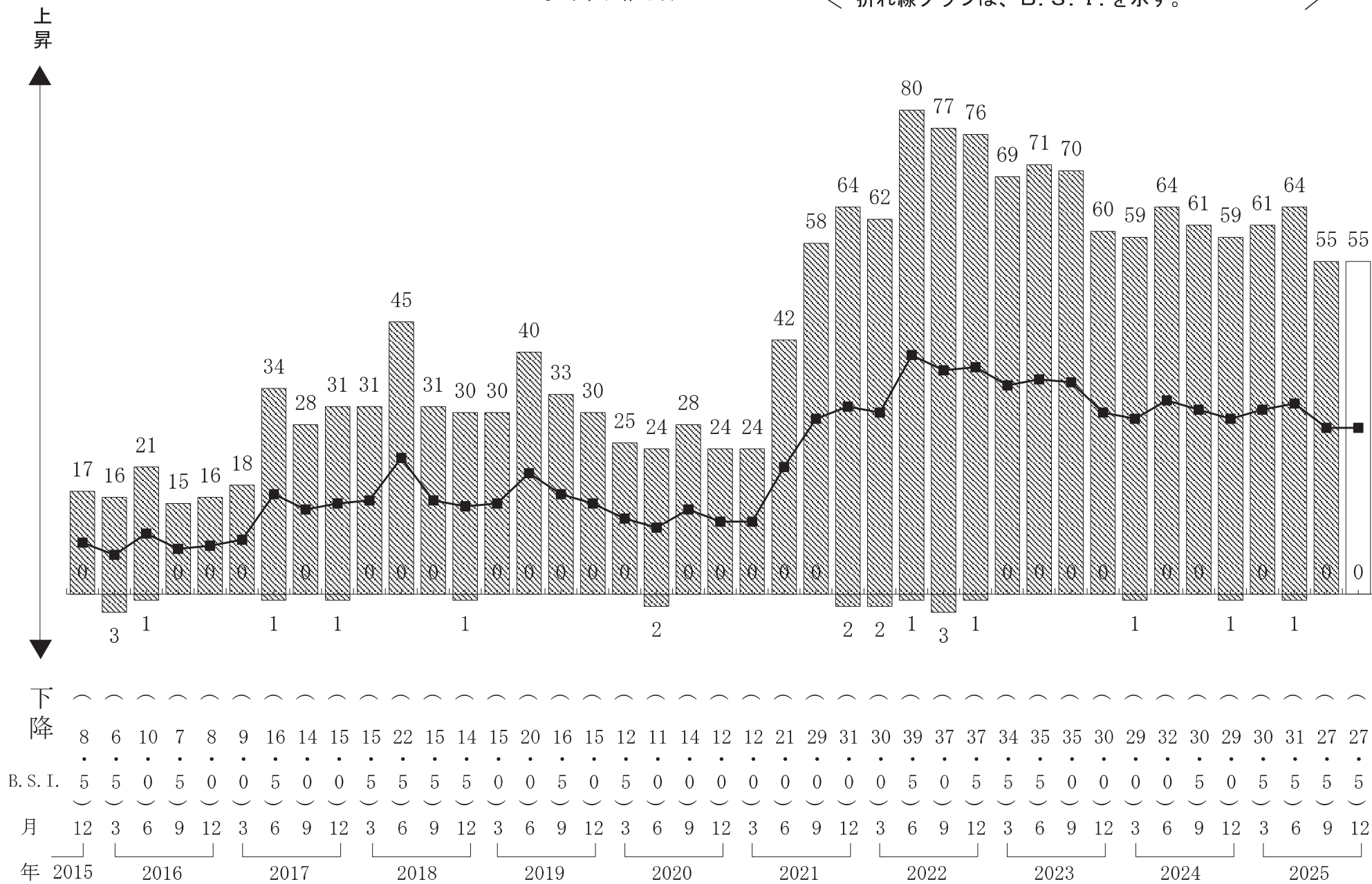
- ・棒グラフは、回答企業の構成比 (%) を示す。
- ・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済) を示す。





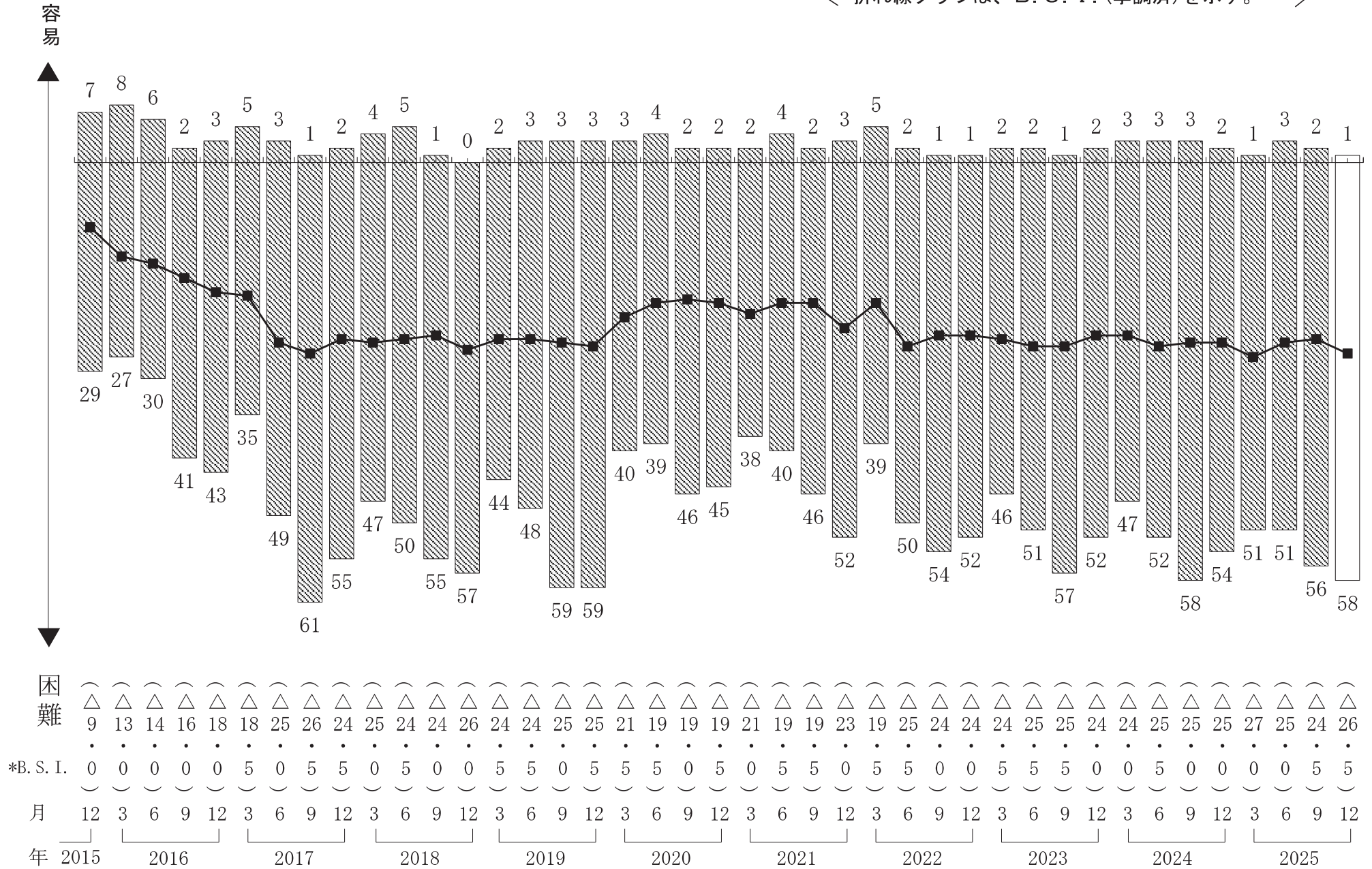
# 資材価格

- 棒グラフは、回答企業の構成比 (%) を示す。
- 折れ線グラフは、B. S. I. を示す。

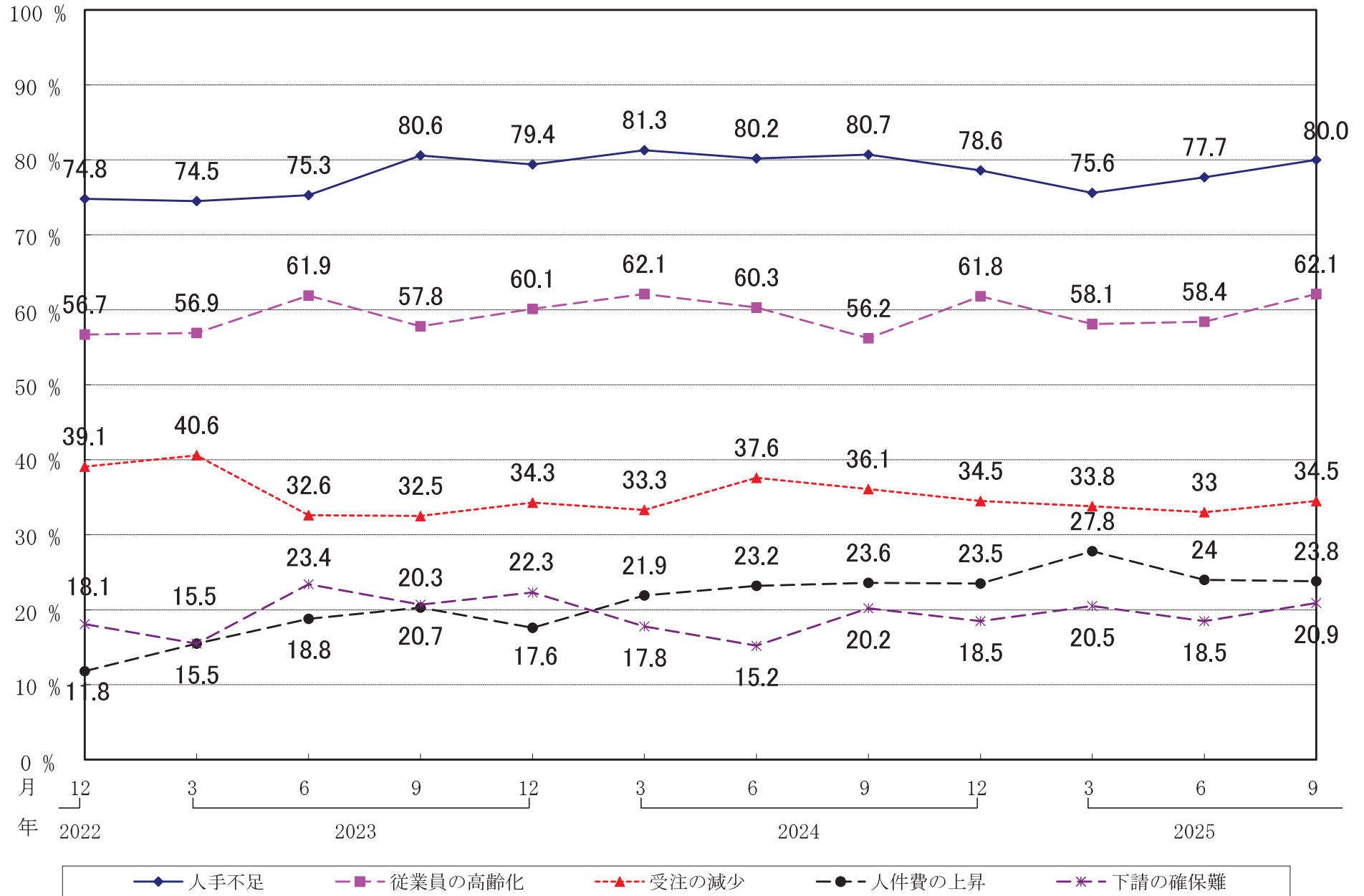


# 建設労働者の確保

・棒グラフは、回答企業の構成比 (%) を示す。  
 ・折れ線グラフは、B. S. I. (季調済) を示す。



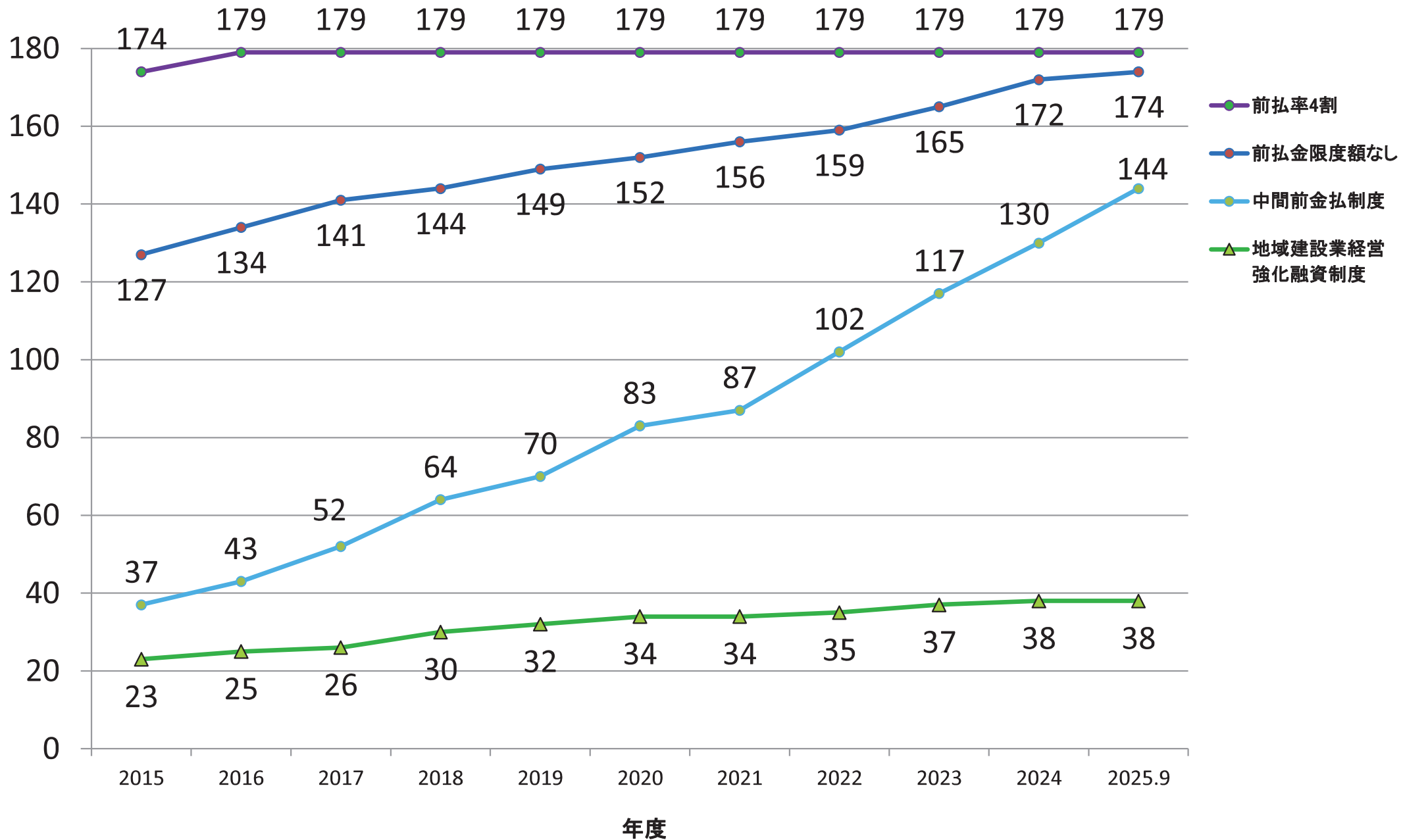
# 経営上の問題点



# 道内市町村における前金払・中間前金払制度の拡充・導入状況(年度別)

出典: 北海道建設業信用保証(株)

市町村数



道内市町村の前金払制度等導入状況(工事)

2025年9月30日現在

石狩振興局					胆振総合振興局					留萌振興局					宗谷総合振興局								
市町村	割合(%)	限度額(万円)	対象額(万円)	中間	出来高	市町村	割合(%)	限度額(万円)	対象額(万円)	中間	出来高	市町村	割合(%)	限度額(万円)	対象額(万円)	中間	出来高	市町村	割合(%)	限度額(万円)	対象額(万円)	中間	出来高
札幌市	40	—	250超	*	○	室蘭市	40	—	250以上	*	○	留萌市	40	—	300以上	*	○	稚内市	40	—	100以上	*	
江別市	40	—	300以上	*	○	苫小牧市	40	—	200以上	*	○	増毛町	40	—	500以上	*		浜頓別町	40	—	500以上	*	
恵庭市	40	—	300以上	*	○	登別市	40	—	250以上	*	○	小平町	40	—	250以上	*		中頓別町	40	—	500以上	*	
千歳市	40	—	250以上	*		伊達市	40	—	500以上	*	○	苫前町	40	—	250以上	*	○	枝幸町	40	—	250超	*	
北広島市	40	—	300以上	*		豊浦町	40	—	250以上	*		羽幌町	40	—	300以上	*		豊富町	40	—	500以上	*	
石狩市	40	—	300以上	*	○	洞爺湖町	40	—	500以上	*		遠別町	40	—	300以上	*		礼文町	40	—	300以上	*	
当別町	40	—	500以上	*		壮瞥町	40	—	500以上	*		天塩町	40	—	300以上	*		利尻町	40	—	500以上	*	
新篠津村	40	5,000	500以上	*		白老町	40	—	200以上	*		初山別村	40	—	300以上	*		利尻富士町	40	—	—	*	○
後志総合振興局					日高振興局					上川総合振興局					十勝総合振興局								
小樽市	40	—	200以上	*	○	厚真町	40	—	300以上	*		旭川市	40	—	100以上	*	○	幌延町	40	—	250以上	*	
寿都町	40	—	500以上	*		むかわ町	40	—	250以上	*		士別市	40	—	300以上	*	○	猿払村	40	—	300以上	*	
黒松内町	40	—	500以上	*		日高町	40	—	500以上	*		名寄市	40	—	300以上	*	○	十勝総合振興局					
蘭越町	40	—	500以上	*		平取町	40	—	500以上	*		富良野市	40	—	300以上	*		帯広市	40	—	250以上	*	○
二七二町	40	—	500以上	*		新冠町	40	—	500以上	*		鷹栖町	40	—	1,000以上	*		音更町	40	—	250以上	*	
喜茂別町	40	—	500以上	*		新冠町	40	—	500以上	*		東神楽町	40	—	1,000以上	*		士幌町	40	—	250以上	*	
京極町	40	—	500以上	*		新冠町	40	—	500以上	*		当麻町	40	—	300以上	*		鹿追町	40	—	250以上	*	
倶知安町	40	—	250以上	*		浦河町	40	—	500以上	*		比布町	40	—	1,000以上	*		新得町	40	—	250以上	*	○
共和町	40	10,000	500以上	*		様似町	40	—	300以上	*		愛別町	40	—	300以上	*		清水町	40	—	500以上	*	○
岩内町	40	—	500以上	*		えりも町	40	—	500超	*		上川町	40	—	250以上	*		芽室町	40	—	500以上	*	○
積丹町	40	—	130以上	*		渡島総合振興局					東川町	40	—	300以上	*		大樹町	40	—	250以上	*		
古平町	40	10,000	500以上	*		函館市	40	—	300以上	*	○	美瑛町	40	—	300以上	*		広尾町	40	—	250以上	*	
仁木町	40	—	1,000以上	*		北斗市	40	—	300以上	*		上富良野町	40	—	300以上	*		幕別町	40	—	250以上	*	
余市町	40	—	300以上	*		松前町	40	—	300以上	*		中富良野町	40	—	300以上	*		池田町	40	—	250以上	*	
島牧村	40	—	300以上	*		福島町	40	—	250以上	*		南富良野町	40	—	300以上	*		豊頃町	40	—	500以上	*	
真狩村	40	—	300以上	*		知内町	40	—	250以上	*	○	幌加内町	40	—	300以上	*		本別町	40	—	250以上	*	
留寿都村	40	—	500以上	*		木古内町	40	—	500以上	*		和寒町	40	—	500以上	*		足寄町	40	—	300以上	*	○
泊村	40	10,000	1,000以上	*		七飯町	40	—	130以上	*	○	剣淵町	40	—	500以上	*		陸別町	40	—	500以上	*	
神恵内村	40	10,000	500以上	*		森町	40	—	300以上	*		下川町	40	—	250以上	*		浦幌町	40	—	500以上	*	○
赤井川村	40	—	250以上	*		八雲町	40	—	300以上	*	○	美深町	40	—	300以上	*		中札内村	40	—	500以上	*	
空知総合振興局					長万部町	40	—	130以上	*		中川町	40	—	300以上	*		更別村	40	—	500以上	*		
岩見沢市	40	—	250以上	*	○	鹿部町	40	—	300以上	*		占冠村	40	—	1,000以上	*		釧路総合振興局					
美唄市	40	—	130超	*	○	檜山振興局					音威子府村	40	—	300以上	*		釧路市	40	—	200以上	*	○	
滝川市	40	—	500以上	*	○	江差町	40	—	300以上	*		オホーツク総合振興局					厚岸町	40	—	1,000以上	*	○	
滝川市	40	—	300以上	*	○	上ノ国町	40	—	200以上	*		北見市	40	—	500以上	*		浜中町	40	—	500以上	*	
深川市	40	—	300以上	*	○	厚沢部町	40	—	1,000以上	*		網走市	40	—	300以上	*	○	標茶町	40	—	300超	*	
赤平市	40	—	300以上	*		乙部町	40	—	1,000以上	*		紋別市	40	—	500以上	*		弟子屈町	40	—	500以上	*	
芦別市	40	—	300以上	*		奥尻町	40	—	500以上	*		大空町	40	—	1,000以上	*		白糠町	40	—	500以上	*	
歌志内市	40	—	300以上	*		せたな町	40	—	130以上	*		美幌町	40	—	500以上	*		釧路町	40	—	250以上	*	○
夕張市	40	—	300以上	*		今金町	40	—	250以上	*		津別町	40	—	500以上	*		鶴居村	40	—	250超	*	
三笠市	40	—	500以上	*		根室振興局					斜里町	40	—	300以上	*		根室振興局						
南幌町	40	—	1,000以上	*		根室市	40	—	300以上	*		清里町	40	—	500以上	*		別海町	40	—	250以上	*	
奈井江町	40	—	300以上	*		別海町	40	—	250以上	*		小清水町	40	—	300以上	*		中標津町	40	—	500以上	*	○
上砂川町	40	—	300以上	*		中標津町	40	—	500以上	*		馴子府町	40	—	250以上	*		標津町	40	—	250以上	*	
由仁町	40	—	1,000以上	*		置戸町	40	—	500以上	*		置戸町	40	—	500以上	*		羅臼町	40	—	250以上	*	
長沼町	40	—	1,000以上	*		佐呂間町	40	—	300以上	*		遠軽町	40	—	500以上	*	○	179 174 144 38					
栗山町	40	—	500以上	*		遠軽町	40	—	500以上	*	○	湧別町	40	—	1,000以上	*							
月形町	40	—	1,000以上	*		湧別町	40	—	1,000以上	*		滝上町	40	—	500以上	*							
浦臼町	40	—	300以上	*		滝上町	40	—	500以上	*		興部町	40	—	500以上	*							
新十津川町	40	—	300以上	*	○	興部町	40	—	500以上	*		雄武町	40	—	250以上	*	○						
妹背牛町	40	—	500以上	*		雄武町	40	—	250以上	*	○	西興部村	40	—	1,000以上	*							
秩父別町	40	—	500以上	*		西興部村	40	—	1,000以上	*													
雨竜町	40	—	300以上	*																			
北竜町	40	—	500以上	*																			
沼田町	40	—	250以上	*																			

※1 ■ は、2025年度に改正した自治体  
 ※2 「中間」\*は、中間前金払制度を採用している自治体  
 ※3 「出来高」○は、地域建設業経営強化融資（出来高融資）制度を採用している市町村

## 保証証書(前払金保証・契約保証)の電子化

### 1. 国土交通省の電子保証実績 (2025年9月末現在)

#### (1) 前払金保証

	電子 (件数)	全体 (件数)	利用率 (%)
北海道開発局	1,406	1,621	86.7
地方整備局等	37	55	67.3
合計	1,443	1,676	86.1

#### (2) 契約保証

	電子 (件数)	全体 (件数)	利用率 (%)
北海道開発局	169	196	86.2
地方整備局等	9	28	32.1
合計	178	224	79.5

### 2. 北海道の電子保証実績 (2025年9月末現在)

#### (1) 前払金保証

	電子 (件数)	全体 (件数)	利用率 (%)
北海道	2,065	2,900	71.2

#### (2) 契約保証

	電子 (件数)	全体 (件数)	利用率 (%)
北海道	250	456	54.8

### 3. 道内発注者の電子保証の導入状況 (2025年9月末現在)

発注者区分	発注者名
独立行政法人等	北海道大学、旭川工業高等専門学校、釧路工業高等専門学校
市町村	北広島市、苫小牧市、 <u>岩見沢市</u> 、 <u>旭川市</u> 、帯広市、釧路市、 岩内町、小清水町、 <u>浜中町</u> 、 <u>中標津町</u>
地方公社	北海道農業公社
その他	十勝中部広域水道企業団、十勝圏複合事務組合、釧路公立大学

※下線は2025年度に導入した発注者

## 【参考】 2025年度 保証事業重点推進方針

- ◆発注者・保証契約者との連携による前払金制度の改善や業務のDX化などを通じ、社会変化に柔軟に対応する資金環境を提供し、公共工事の円滑な執行を支える
- ◆建設業関係団体と連携し、北海道建設業の持続・発展を支援し、社会の関心と理解が深まるようその魅力を発信する

昨今、新幹線工事等の押し上げにより、当社保証請負金額は好調に推移している。このような中、新幹線整備の完了後をも見据え、持続性のある経営に努めることとし、引き続き社内業務の一層の効率化を図るとともに、道内建設業の維持に向け、各種取組みを積極的に推進する。

### 1 発注者との連携の強化

#### (1) 前払金制度改善等について発注者と意見交換

開発局、北海道との意見交換、市町村訪問の他、発注者協議会等への参加を通じ、前金払の速やかな実施と制度改善・利用環境整備・担い手活動の重要性についての情報の共有・発信に努める。

#### (2) 第3次・担い手3法関連施策への協力

働き方改革・生産性向上・地域建設業等の維持について、発注者が取り組む施策に積極的に協力する。

### 2 前払金制度の改善・利用促進

#### (1) 道内市町村における前払率一律4割・限度額なしへの働きかけ

全道179市町村のうち、まだ支払限度額を設定している7市町村に撤廃を働きかける。

#### (2) 中間前払金制度を利用しやすい環境整備

- ①制度導入済の市町村が130市町村（制度導入率が全都道府県中最下位の72%）に留まることから、未導入の市町村に働きかけ、新たに20市町村計150市町村（83%）の導入を目指す。
- ②国、北海道及び制度導入市町村の協力を得て、中間前払金を利用しやすい環境づくりを進める。
- ③保証契約者に対して、施工に必要な資金調達方法としての中間前払金の活用を働きかける。
- ④上記により中間前払金利用率15%（前払対象の請負金額比）以上を目指す。

#### (3) 地域建設業経営強化融資制度（出来高融資）導入の働きかけ

- ①制度導入済の市町村が38市町村（21%）に留まることから、未導入の市町村に働きかけ、新たに6市町村計44市町村（24%）の導入を目指す。
- ②現行制度が2025年度まで延長されていることから、保証利用者に対し、出来高融資の活用を広く働きかける。

### 3 業務のDX化の推進

- ①国・道その他自治体における証書の電子化の推進に協力するとともに、未導入の自治体への情報提供を行う。
- ②保証契約者のWeb保証申込を促進し、電子的に保証手続を行うための環境整備を進める。
- ③業務のDX化を推進し、社内業務の効率化を図るとともに、保証契約者の利便性を向上させる。

### 4 保証契約者との連携の強化・情報提供

#### (1) 保証契約者との連携強化

地方建協・建青会・事務担当者との勉強会、情報交換会等を通じ、前払金・中間前払金制度及び北保証サービスの出来高融資制度の利用促進に努める。

#### (2) 保証契約者の経営判断に資する情報提供

- ①保証契約者の経営改善に資するため、「道内建設業の財務比率」による業種別等各種平均財務比率をよりわかりやすく提供する。
- ②北海道建設業（保証契約者）の平均財務比率を、他地域や他産業の平均財務比率と比較できるよう提供する。

### 5 北海道建設業の持続・発展への支援とその魅力の情報発信

- ①北海道建設業協会と連携し、北海道建設業の持続・発展を支援し、その魅力を発信する。
- ②Instagram等を通じて、建設業の役割・魅力等の情報を社会の関心と理解が深まるよう幅広く発信する。

### 6 道内建設業担い手確保助成事業による支援

- ①「道内建設業担い手確保助成事業」（2024～2028年度までの5カ年で1億円）について、5カ年事業の2年目として引き続き実施する。
- ②コンストラクション甲子園等、各建設業団体において企画される新たな取組については、積極的に支援する。

## 【「発注関係事務の運用に関する指針（運用指針）」（抄）（2025年2月3日関係省庁連絡会議申し合わせ）】

（公共工事に従事する者の労働環境の改善）

～下請業者や労働者等に対する円滑な支払を促進するため、前金払の速やかな実施や支払限度額の見直し等による前金払制度の適切な運用、中間前金払、（中略）地域建設業経営強化融資制度の活用等により元請業者の資金調達の円滑化を図る。既に中間前金払制度を導入している場合には、発注者側からその利用を促すこと及び手続の簡素化・迅速化を図ること等により、受注者にとって当該制度を利用しやすい環境の整備に努める。～